



岡山市

桃太郎
のまち岡山

- 古代吉備文化の発祥地
- 人口約72万人の政令指定都市
- 中四国地方のクロスポイント

吉備津神社

造山古墳 1

岡山城 岡山後楽園



2

岡山市中心市街地の概要

岡山駅周辺：電車・バスの交通拠点や大型商業施設

旭川周辺：岡山城・岡山後楽園など文化・観光施設が集積



3



**まちなかの賑わい創出と
回遊性向上に向けた社会実験 等**





旭川かわまちづくり計画等の 旭川水辺再生の取組

旭川と岡山城・岡山後楽園の関係

- 旭川は、県中央部を南北に流れ、下流部で旭川放水路（百間川）を分流した後、**岡山市中心部を流れる延長142kmの一級河川**
- 岡山城築城、百間川築造などの治水対策、岡山後楽園の築庭を取り巻く歴史は、**岡山のまちづくりのルーツ**



10

岡山城築城と城下を襲った洪水

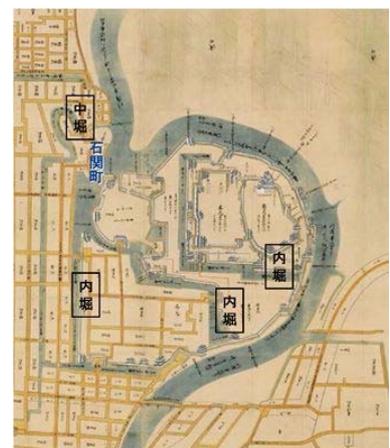
- 戦国武将 宇喜多直家の息子、**宇喜多秀家は**、五大老の一人として豊臣政権の一翼を担うに相応しい居城とするため、1597年に**現在の岡山城としての基礎を築いた**
- 築城時に、旭川を城と城下町の防御を固めるための堀の代わりとして利用した。城と城下町の防御は強固なものになったが、**不自然な流路のため、岡山城下はたびたび洪水に悩まされることになった**



宇喜多秀家 (岡山城所蔵)



岡山城



江戸時代の旭川の流れ

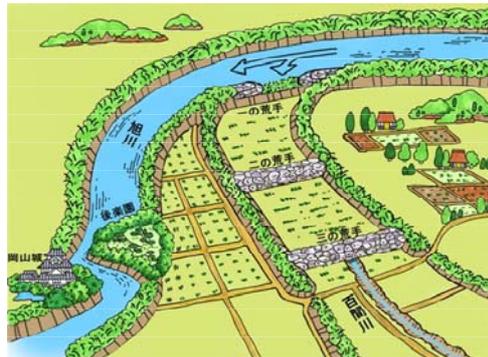
(池田家文庫岡山大学付属図書館所蔵) 11

旭川の治水対策と岡山後楽園の築庭

- 1632年、岡山藩の藩主となった池田光政は、岡山藩士・津田永忠を抜擢し、新田開発や治水対策として百間川の築造などを進める
- 光政の息子 池田綱政は、百間川の概成により城下町や城の対岸が安全になったことを受け、津田永忠らに後楽園の築庭に着手させ、1700年に完成する
- 岡山城・岡山後楽園一帯は、現在のおかやまのまちが形づくられた歴史を感じることができる「**岡山顔**」ともいえるエリア



土木巧者としても名高い
津田永忠 (沖田神社)



百間川の治水の仕組み(三段の荒手)

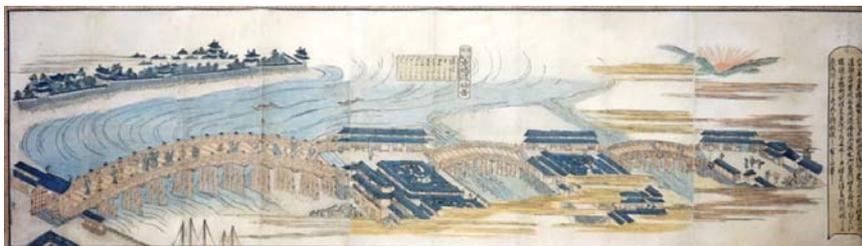


岡山城と岡山後楽園

12

旭川水辺再生の必要性

- 旭川は、江戸時代以降、高瀬舟による舟運が盛んであり、京橋付近は問屋や商店街が形成され、賑いを見せていたが、昭和初期頃に舟運の姿は消え、水辺のにぎわいも失われてしまった
- 岡山城・岡山後楽園は、賑わいの拠点として高いポテンシャルを有するが、旭川の水辺空間が十分に活かされていない



「京橋渡初(わたりぞめ)図」(弘化4年(1847年))岡山市立中央図書館蔵



昭和5年の京橋船着場

失われた旭川の水辺の賑わいを再生し、
市民の憩いの空間、岡山城・岡山後楽園と一体となった
魅力ある空間としての旭川の再生へ！

13

旭川水辺再生の主な施策



出石地区の現状



- 【現況】**
- ・ **治水の観点から早急な整備が必要**
 - ・ **水際へのアクセスや歩行性が悪い**
 - ・ **堤防背後に市道を拡幅する計画がある**
 - ・ **岡山後楽園の玄関口にあたる景観上重要な箇所**



急な階段で水辺へのアクセスが悪い



凹凸があり歩きにくい 15

出石地区のかわづくり、まちづくりの連携

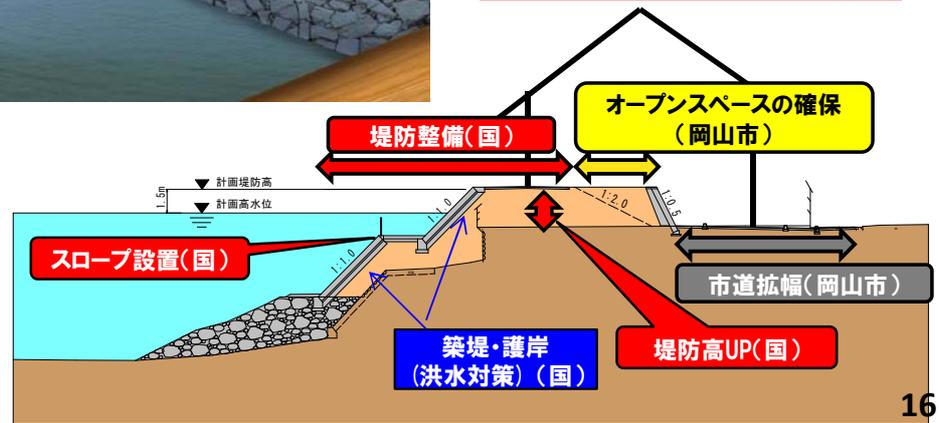
堤防整備、市道拡幅、オープンスペース確保について国と市で連携

【整備イメージ】



堤防整備に併せ、

- スロープ設置
- 水辺の回遊路の平滑化
→ **回遊性の向上**
- 堤防の天端を市が追加で確保
→ **オープンスペース活用**



16

旭川さくらみちの整備(国)

旭川かわまちづくりの取組

さくらみち全区間で桜の保全・植替えが可能に

- 平成26年度～平成28年度 護岸整備、堤防整備(国)
- 平成27年度～ 桜の維持・桜並木の保全(市)

① 護岸・スロープ整備



H26年度 施工済区間 (H27.4)



H27年度 護岸施工状況 (H27.12)



完成後の利用状況 (H28.4)



② 堤防整備



17

旭川さくらみちの整備(市)

旭川かわまちづくりの取組

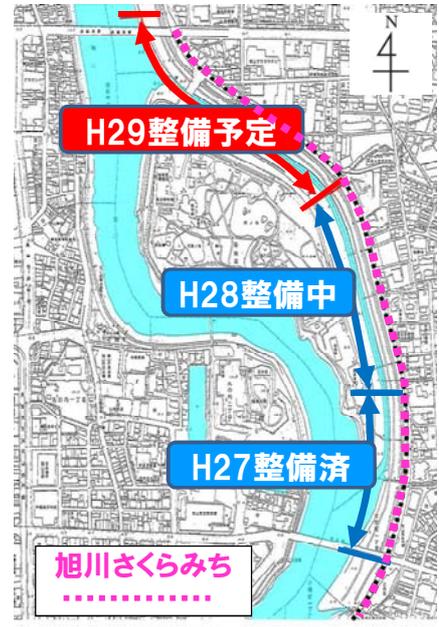
利用者がより親しみを感じる歩行空間に

➤平成27年度～平成29年度 歩行空間整備

① 上部歩行空間整備



② 下部遊歩道整備



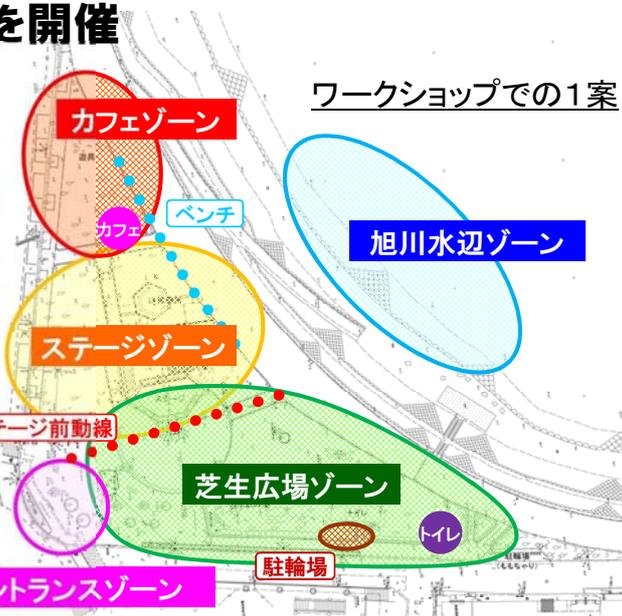
石山公園のリニューアル

旭川かわまちづくりの取組

- 石山公園は岡山城や岡山後楽園、旭川の水辺を巡る“回遊の拠点”
- 回遊性のさらなる向上と、にぎわいの拠点の創出を目指してリニューアルを計画
- 現在、市民ワークショップを開催



ワークショップの様子



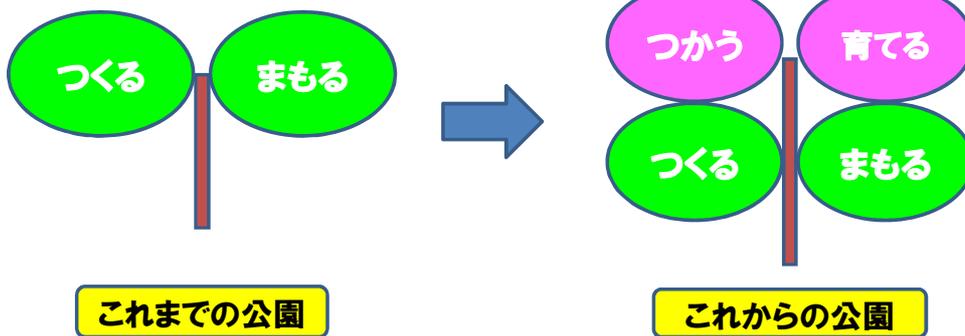


旭川かわまちづくりの取組

20

石山公園におけるパークマネジメントの推進

公園のあり方のイメージ



- 再整備後は行政、市民、民間事業者等が連携した協議体による公園運営を目指す
- 協議体設立に向けた「石山公園活用検討会」を発足
- 民間活力導入の試みとして「公園トイレのネーミングライツ」を実施

ミズベリング岡山旭川

(H27年10月31日)



約60年ぶりに
植樹が可能に

22

憩い・楽しみ・集まるための
アイデアを考える
ワークショップを開催



23



個人・市民・企業から
イベントを公募



旭川水辺再生戦略会議(H27～)

産学官のトップによる旭川の水辺の利活用促進と、岡山城・岡山後楽園周辺を中心とした岡山市の魅力あるまちづくりについて検討するための推進組織

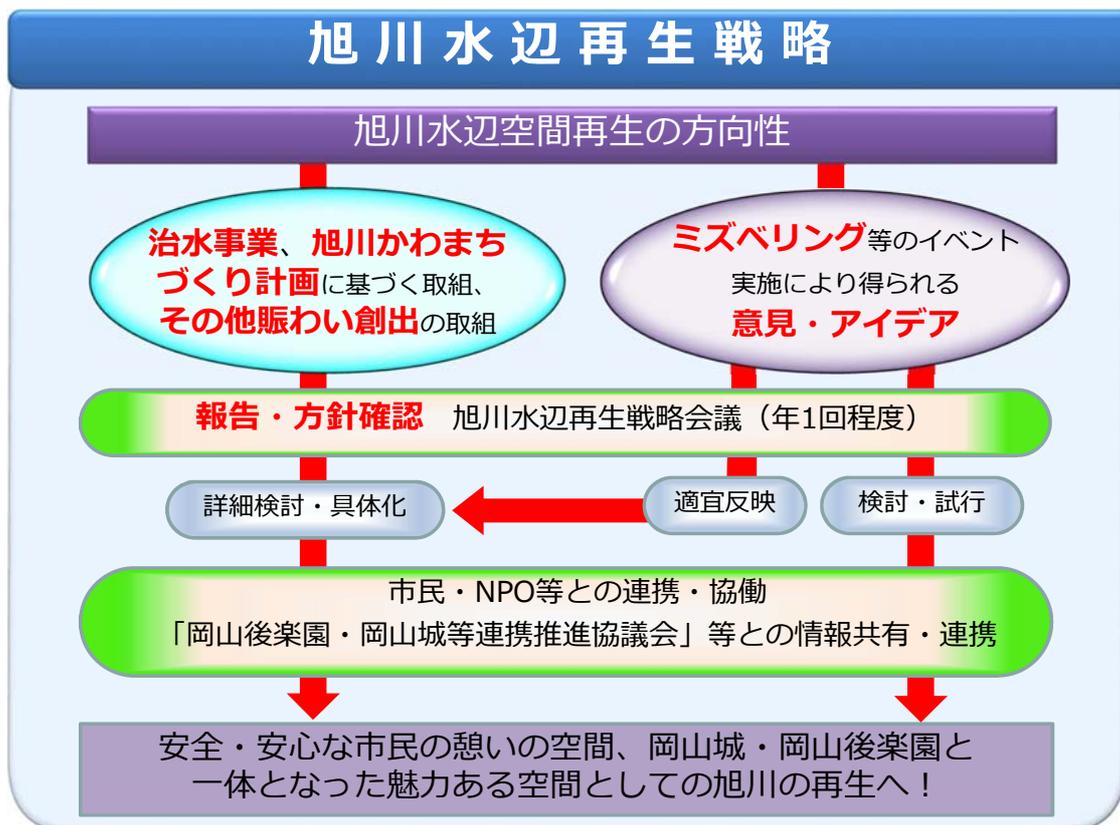


メンバー

- ・岡山市長
- ・岡山商工会議所会頭
- ・岡山大学副学長
- ・岡山県土木部長
- ・岡山河川事務所長

26

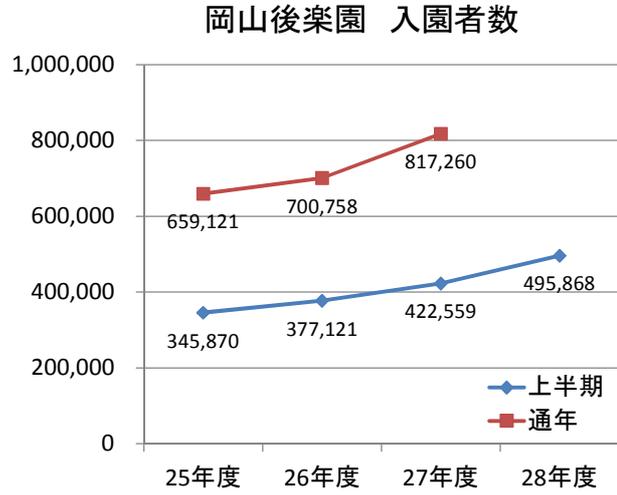
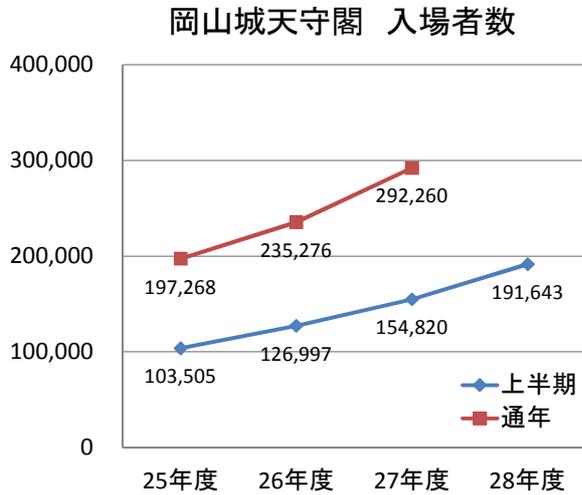
旭川水辺再生の進め方



27

発展を続ける「岡山の顔」といえるエリア

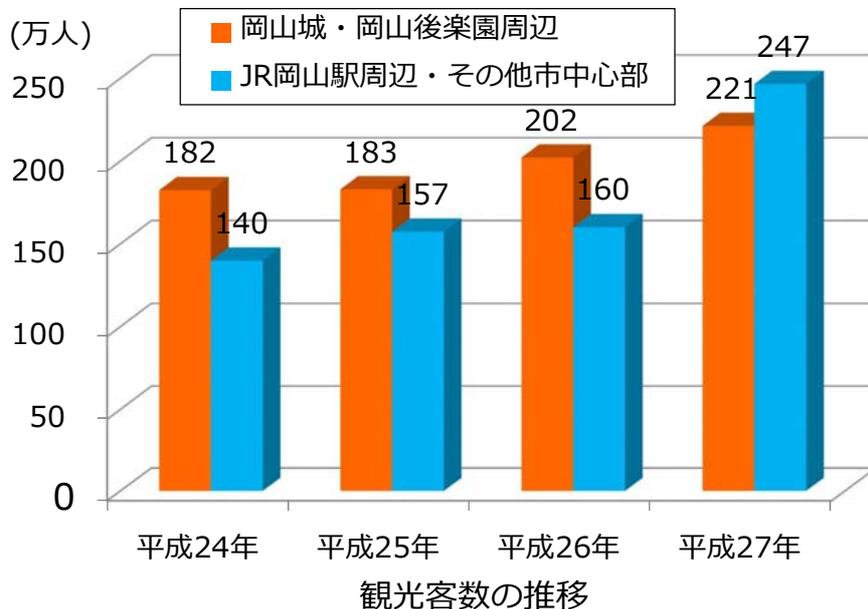
平成25年度上半期 ⇒ 平成28年度上半期
 岡山城天守閣 85.2%増
 岡山後楽園 43.4%増



28

中心市街地活性化にも徐々に手応え

平成25年度 ⇒ 平成28年度
 岡山城・岡山後楽園周辺 20.9%増
 JR岡山駅周辺・その他市中心部 56.7%増



出典：平成27年度岡山県観光客動態調査報告書より作成

29

